

e-Learning Newsletter



contents

- ◆ 新センター長あいさつ 色々な学びを通じ「人間力」を考える

Information

- ◎eALPS支援ツール認定制度「eALPluS」

- ◆ 「eALPluS」認定第1号 学生の声
きっかけは「提出期限が一覧で表示されるといいな」
- ◆ 退任あいさつ

e-Learningセンター発足から12年、2024年10月から安田弘法理事をe-Learningセンター長にお迎えし、これからも皆さまへのサポートとサービスを充実してまいります。

裏面では、「eALPluS」の紹介と認定第1号の「RACSU」を開発した渡邊友翔さんへのインタビュー、前センター長からの退任あいさつを掲載しています。

新センター長あいさつ

色々な学びを通じ「人間力」を考える

10月からe-Learningセンター長を拝命しました。ここでは、「Learning：学びや学問」を通じて考えた「人間力（自立した一人の人間として力強く生きるための力）」について記します。長い人生では、色々な学びがあります。小学校から高等学校までの知識や技術の基礎的な学びから大学での高度な学び、さらに研究を通じた未知なる現象解明の学び等々。このような学校での学びも必要ですが、出会いを通じた人からの学びも二度ない人生に大きな影響を与える学びとして重要でしょう。

私は70年の人生で多くの人から色々と学び、今の自分があります。そのような人に京セラの創業者、稲盛和夫さんがいます。稲盛さんは、51歳で盛和塾を創設され、塾長として中小企業の経営者に経営や「人間力」について教授されました。私は、稲盛さんの数多くの著書を読み、その生き方に感銘を受け、約25年前に「盛和塾庄内」が創設されるとすぐに塾生として、塾長や塾生から「人間力」を学びました。

塾長は、受験秀才ではなく、中学校や高校及び大学受験に失敗した挫折の経験者。さらに大学を卒業して入社した企業も赤字経営で、27歳の時、会社の仲間7人と京セラを設立。さらに55歳の時、数多くの苦労の末に第二電電（KDDI）を創設し、78歳でJALを再生。また52歳の時に私財を投じ「稲盛財団」を設立し、優れた研究者を「京都賞」として顕彰。「動機善なりや、私心なかりしや」、「世のため人のために」を判断基準の一つとして生き切った人生。

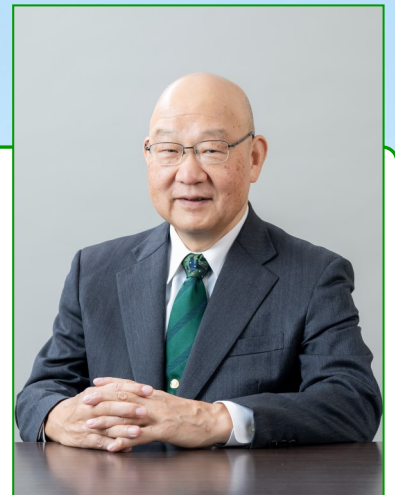
「稲盛語録」を紹介します。「利他の心を持つ」。「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」。「人間性が大事。人間性は顔に出る」。「人生は「運命」という縦系と「因果の法則」という横系により織りなされている。善きことを思い、善きことを行えば、人生は好転する」。「成功しても謙虚な人だけが幸運を長続きさせることができる」。「時代がどのように変わろうとも、一所懸命に努力するのが一番」。「人格を高めていこう、自分の心、魂を立派なものにしていこう

と、繰り返し、繰り返し努力をする。その行為そのものが尊いのです」。何度読み返しても心に響く「教え」です。今までも、今も、これからも人からの学びも重要に思います。

私の人生の師に東洋哲学の泰斗、安岡正篤先生がいます。先生は、「学問」とその意義を「人間は逆境・難境に遭遇すると、如何に学問が大切であるかという事がわかります。真の学問をやっておれば、しみじみ問題を考えることができる。考えることができれば、自ずからそこに光も差す、期待もわく、又楽しみも生じてくるものです。だから人間はやはり学問をしなければいけません。と言っても形式的な、功利的な、世俗の学問では駄目でありまして、老荘や禅で言うところの絶学の学、良知の学、正学を学ばなければいけない。またそういうところにわれわれの学道、講学の一つの妙味があるわけです」と述べています。「真の学問」を通じた「人間力」の学び、重要に思います。

我が人生を今振り返ると、学びの中では、「人間力」と「専門力」の学びが不可欠と感じます。社会人になり仕事に従事すると「専門力」の学びは、必要ですが、多忙な日々に「人間力」の学びを継続するのは、難しいことです。しかし、この「人間力」の学びは、二度ない人生を生きる上で重要であり、複雑な人間関係が錯綜する社会を生き抜くには必要に思います。学生の皆さんが、e-Learning、書物、出会いを通じ「学問」の本質を学び、「信大コンピテンシー」の「豊かな未来を切り拓く力」である「人間力」について考え続けていただければ嬉しく思います。

e-Learning センター長
安田 弘法



◎eALPS支援ツール認定制度「eALPluS」

信州大学の学生及び教職員が開発したeALPSの利便性向上に資する開発に対し、センターが定めた要件を満たす場合に認定する制度です。申請方法、認定要件、認定事例紹介など、詳しくはe-LearningセンターWEBサイト (<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/e-L/ealplus.html>) を確認してください。

「eALPluS」認定第1号 学生の声

きっかけは「提出期限が一覧で表示されるといいな」

**eALPSの利用で不便に感じていることを解消したいと、独自で開発。
eALPluSの認定を受けた「RACSU」について話を伺いました!!**

日々の学習では、予習復習のための資料をダウンロードする際にeALPSを利用することが多く、資料と課題の提出フォームなどの授業関連コンテンツがまとまっている点が便利だと感じています。ただ、課題の提出期限をまとめて見ることができない点に不便を感じていました。提出期間が長めに設定されている課題は、提示されてから時間がたつと忘れてしまうことがあり、アクセスする頻度の高いeALPSのトップページなど、目立つところに提出期限の一覧が表示されるといいなと思っていました。

そこで、課題一覧を表示させることができるChrome/Edge拡張機能を作成しました。はじめは友人に使ってもらう程度でしたが、最終的に「RACSU for eALPS」として公開するに至りました。公開に際して、友人との会話の中での「課題をもっと楽に管理したい」という思いから、「ACSU」にちなみ「RACSU」と命名しました。開発に使用した言語の使い方等すべて独学なので、慣れるまで時間がかかり、Chrome/Edge拡張機能を作ることが初めてだったので、拡張機能独自の仕様に合わせた作業もとても苦労しました。開発当初から、多くの方に使ってほしい思いがあったので、RACSUが原因で個人情報等の漏洩が絶対に起こらないように意識しました。

RACSUでは、eALPS時間割ページに課題一覧を表示し、eALPSから自動取得した課題に加え、独自の課題も追加し管理できます。

e-Learningセンターへ連絡することは、かなりためらいましたが、認可制度の体制を整えてくださり「eALPluS」の認定を受けることができました。勇気を出して連絡して良かったと思いますし、センターの皆様にとっても感謝しています。



工学部 渡邊友翔さん



課題提出期限が表示されたeALPS時間割

退任あいさつ

本年9月末をもってe-Learningセンター長を退任いたしました。2015年10月の着任以来、センター教員や学務部学務課職員、各学部教務担当の教職員の皆様の力をお借りして、センター長を9年にわたって務めることができました。お世話になった皆様に、心から感謝申し上げます。

この9年間、e-Learningセンターでは、全学的な教育基盤システムとしてのeALPSの拡充と安定運用、eALPSシステムのクラウド化に関する業務、さらにはe-Learning教材の作成・開発を行う教員への支援、学習者への利用支援、教育改善の啓発などの業務を実施してまいりました。また、e-Learningセンターの特筆すべき活動として、新型コロナウイルスの感染拡大によるオンライン授業・オンデマンド授業への移行時の活動があげられます。センターの教職員が総力を挙げて教職員・学生への支援にあたり、対面での授業が叶わなくなった2020年度の授業では、スムーズにオンライン授業・オンデマンド授業を展開することができました。

これらセンターの取り組みは、第4期中期計画・目標において求められている「教育の質保証」の実現に、多大な貢献をしているものと自負しています。新たなセンター長にバトンを託しますが、今後もe-Learningセンターの取り組みへのご理解とご協力をお願いいたします。

平野吉直



平野センター長、長い間ありがとうございました

